

嘉芸小学校PTA活動方針

われわれ嘉芸小学校PTAは、急速に発展しつつある社会に対応し、児童・生徒の望ましい学校教育に期すために、会員相互の連携を密にし、意識の高揚と資質の向上に努める。

- 1 学校、地域が連携を密にし、学力の向上に努める
- 2 学校および家庭、地域での児童・生徒の教育を理解し、その振興に努める
- 3 全会員が広い視野に立って研究・研修活動を活発にし、会員相互の親睦を図る
- 4 家庭や地域の教育環境の改善・充実に努める



【PTAの各種専門部】

◆ 学年委員 ◆

各学年から、それぞれ委員長1名、副委員長1名、世話係・連絡係（数名）を選出します。学年委員長が「評議委員」となります。

◆ 各種専門部 ◆

嘉芸小PTAには、5つの「専門部」があり、協力学年を設けてあります。

< 総務・生活文化部（各学年委員長） >

- ☆予算、決算に関すること
- ☆各種会合の計画運営と各部との連絡調整
- ☆学年・学級PTAとの連絡調整
- ☆会員の学習活動、文化研修に関すること
- ☆児童の健全育成、交通安全に関すること
- ☆活動協力（漢字検定、童話お話大会の運営、避難訓練など）



< 広報部（各学年） >

- ☆PTA新聞の作成・発行に関する事（学期ごと年3回発行）
- ☆学年行事の際に写真を撮る



< 保健体育部 >

- ☆会員相互の健康増進活動に関すること
（運動会、持久走大会、親睦バレーボール大会、町Pバレーボール大会など）
- ☆学校保健衛生への協力に関すること

< 環境整備部 > ☆教育環境、学校施設整備への協力に関すること

- ☆環境整備作業（学期ごとに3回）

< 校外指導部（各学年副委員長） >

- ☆児童の健全育成に関すること
- ☆生活指導に関すること。



【PTAの組織】

◎総 会：全会員をもって構成します。本会最高の決議機関です。

◎評議委員会：執行部、各種専門部の部長、各学年PTA、
学校職員で構成します。

◎三 役 会：会長、副会長、事務局、会計、で構成します。
(必要に応じて各専門部長が入ります)

◎各種専門部会：三役、各種専門部部長で構成します。

◎学年・学級PTA：各学年・学級におき、その活動については、それぞれの学年・学級の独自
性に任せます。



【PTA会費】

嘉芸小PTAの「PTA会費」は2期に分けて納めますが、一括納入もできます。

<会費の内訳>

- 会費（1世帯）：350円×12ヶ月＝4,200円
- 安全会費（1世帯）：150円（沖縄県PTA連合会教育活動安全会へ納付します）
- 町PTA会費（1世帯）：200円（金武町PTA連合会へ納付します）
- 地区PTA分担金：600円（国頭地区PTA連合会へ納付します。）

* 1期分の納入金額・期間*

毎年5月下旬（定期総会終了後）から1ヵ月間
（3000円）

* 2期分の納入金額・期間*

毎年10月初旬頃から1ヵ月間
（3000円）－1000円＝ 2000円

一括納入もできます

※納入金額 全世帯統一5,000円

【歓迎会費・送別会費】

PTA主催による「新任職員歓迎会」「転出職員送別会」の会費は、別会計になっており、歓迎会・送別会費徴収専用の徴収袋で納入するものなのですが、効率よく且つ納入しやすいようにPTA会費徴収に便乗して納入してもらっております

<歓送迎会費>

- 歓迎会送別会費・・・・・・・・・・ 合計1,000円

P T A はどんな団体？

～まず学校教育の理解から～

P T A の特徴と役割を知ろう

★P T A の目的★

P T A の目的は児童憲章の精神を教育の現場に生かすこと、教育の民主化の徹底図ることにあります。学校は、子どもの健全な育成を図るためにあり、P T A もそのための団体です。しかし、学校は公教育の機関として、憲法や教育基本法などの法律に従って教育活動をするのに対し、P T A は社会教育関係団体である、という異なる性格を持っています。

★特徴を生かした活動★

P T A の特徴として、会員は1つの学校に通う子どもの保護者（先生を含む）であり、同じ地域（学区）に住んでいることがあげられます。このことは子どもたちを健やかに育てるためには非常に有効です。

例えば有害ポスターの氾濫、性風俗店の進出など、子どもに悪影響をあたえるおそれがある場合、P T A を中心に地域社会の連携と世論形成を促し、地域ぐるみの団結、活動が期待できます。営利が目的ではないことに加えて、国や行政による統制や干渉を受けない点も特徴のひとつです。さらに、民主的な方法によって運営されている点も大きな特徴です。P T A は特定の宗教やイデオロギー、職業、社会的地位などに偏ることなく活動しているため、さまざまな意見を交換でき、各人の持つさまざまな能力や技能を生かし合うことができ、家庭や地域社会における子どもの教育や福祉の向上に役立っているわけです。

★幅広い活動内容★

P T A は、成人教育の場でもあります。よりよい保護者、先生であるためには、自ら研究、研磨に励む必要があります。

ここでもP T A の多様性が生きてきます。さまざまな職業や特技を持った人が集まるP T A は、自己研磨の場として最適です。同じ目的を持つ者同士、お互いの違いを理解し、それぞれの立場から学校教育の充実、向上に協力しているのです。

P T A に在籍している短い期間を有効活用するためにも、P T A 活動への積極的な参加を心がけましょう。

～ P T A の主な活動内容 ～

1. 地域社会との連携と世論形成
有害ポスターの氾濫など、地域社会の問題解決にあたる。
2. 家庭や地域における教育や福祉の向上
ゴミ拾い遠足、工作大会などふれあいによる人間形成など
3. 成人教育
子どもにとってよりよい父母、先生であるための学習活動など。
4. 学校教育への協力
学校教育への理解を深め、充実や向上に協力する。
集会活動など。

PTAの特徴と役割を知ろう

★なぜ協力が必要なのか★

子どもは家庭・学校・地域を行ったり来たりしながら生活し、学び、成長するものです。家庭のしつけが学校での学習に生き、学校で育んだ友人関係が地域につながります。情操、意欲、覇気、根性、忍耐力、自立心……。

子どもの心の成長は時と場所を選ばず継続しています。もしも家庭・学校・地域社会の理想像が食い違い、それぞれが異なる事を要求してしまうと、子どもに迷いや悩みをもたせることがあります。人格形成に歪みを生じてしまうこともありうるのです。そのためそれぞれの家庭の家訓や信条、学校教育目標、地域社会の動きや習慣を重ね合わせる必要があります。子どものために足並みを揃えて教育にあたること、これが協力といえるでしょう。

★保護者に求められること★

学校が保護者に期待している主なことは生活に関する指導です。マスコミでたびたび報じられているように、いじめ、非行、暴力、登校拒否と学校はさまざまな問題を抱えています。もちろんこれらが発覚、悪化する前に防ぐことがベストですが、子どもたちの一挙一動を把握するのは困難です。そのため、学校は先生方の目が届かない家庭や地域の子どもの心の動きに関する情報を必要としています。家庭や地域でどんな遊びをしたり、どんな生活をしているかは保護者の方が詳しく知っているはずで、先生方がPTAの会合などで保護者と情報を交換することで子どもの心をつかみ、さまざまな問題の防止や対策につながっていきます。

★まず信頼関係から★

さて、保護者の方の中には「先生」というだけで苦手意識を持つ人もいらっしゃるのではないでしょうか。先生といっても一人の人間です。まず、健全な人間関係を築くことが第一です。例えば、自分の子どもの日常生活ぶり、家庭での教育方針など、楽しく語らみましょう。だんだんうち解けてきたら、子どもについて普段気になっていたことや悩みを先生に相談してみるのです。先生も子どもたちの様子や学級で起こったできごとなどを話してくれます。このようなコミュニケーションを繰り返す中で、信頼関係が生まれてくるのです。

★協力するPTA★

学校とPTAのよい関係は、ひとりひとりの保護者と先生の心のつながりが基盤になります。PTAの役員・委員を務める際にも、同じように校長先生をはじめ先生方とうち解けてください。堅苦しく考えず、1対1の人間として結びつきを深めましょう。普段から「学校を理解するPTA」であってこそ、いざ協力が求められたときに真価を発揮できるのです。それが「協力するPTA」としての役割でもあります。

～ P T A の 協 力 活 動 ～

● 目 的 ●

家庭・学校・地域社会が
足並みを揃えて
教育にあたり、
さまざまな問題の防止や
対策につなげる。

● 協力活動の内容 ●

普段の活動は、 0
子どもたちの生活についての
報告が主なもの。
情報交換によって
子どもの心に近づき、
子どものよりよい
教育環境を整える。

● ポイント ●

普段から先生方と
コミュニケーションを
取ることで信頼関係を築き
学校教育への理解を
深めておく。
いざ協力を求められた時は
敏速に行動。